



1 登別市姉妹都市等都市間交流協会会長日野安信さんの発声で乾杯！ 出席者たちは高らかにグラスを掲げ、今後さらに親交を深め合うことを誓いました 2 海老名駅前の商業施設「ViNAWALK（ビナウォーク）」を視察する白石市民団の皆さん 3 写真左から海老名市のイメージキャラクター「えび〜にゃ」、白石市のPRキャラクター「ボチ武者こじゅーろう」、登別市のPRキャラクター「登夢くん」 4 風間市長立ち会いのもと、内野海老名市長（右）と小笠原登別市長（左）が「登別市・海老名市姉妹都市締結への決意書」に署名。新たな絆が生まれました

Voice



さとう ひでお
佐藤 英雄さん
白石市民団長
(白石市姉妹友好都市交流協会副会長)

この20年間、教育、スポーツ、物産交流でお世話になっています。また、震災時には、海老名市や同市民の皆さんに物心両面で大変お世話になりました。今後、海老名市と登別市、白石市のトライアングル交流が成果を上げ、ますます交流が盛んに行われることと、それぞれのまちがさらに発展することを願います。



よしおか さとし
吉岡 敏さん
海老名市都市間交流協会会長

20 年以上にもわたる交流を通して、年々親密になってきている両市の関係や友情が育まれていく姿を見てきました。これからは、白石市、登別市、海老名市が太い絆と、強く固い友情で結ばれるとともに、その関係がいつまでも続いてほしいと強く思っています。

民間団体同士の新しい絆が誕生！

白石青年会議所と海老名青年会議所が姉妹青年会議所を締結

11 月11日の記念式典後に行われた祝賀会の中で、「登別市・海老名市姉妹都市締結への決意書」を交わした後、公益社団法人白石青年会議所（白石JC）と公益社団法人海老名青年会議所（海老名JC）の間で「姉妹青年会議所締結式」が行われました。これまでまったく交流がなかった2団体ですが、白石・海老名姉妹都市締結20周年を迎えた平成26年以降急接近。1年足らずで姉妹青年会議所締結となりました。

白石JC山田理事長は「この締結を機に、姉妹青年会議所として、これまで以上の深い絆を結んでいきたい」と、海老名JCの鈴木理事長は「私たちが機に、他団体の方たちもどんどん、姉妹提携していただき、この交流の輪がもっともっと広がっていってくれば」と話していました。



▲「姉妹青年会議所締結書」に署名し固い握手を交わす白石JC山田理事長（左）と海老名JC鈴木理事長（右）



▲式典で式辞を述べる風間市長。海老名市との交流を深めてきた関係各位へ感謝の意を表しました

海老名市・白石市姉妹都市提携20周年 さらなる友好・親善交流を誓い合う！

姉妹都市提携20周年 記念式典・祝賀会

11月11日、「海老名市・白石市姉妹都市提携20周年記念式典・祝賀会」が海老名市で開催されました。式典には、本市と海老名市のほか、姉妹都市の登別市や友好都市の札幌市白石区の関係者など約300人が出席。今後のさらなる友好・親善交流を誓い合いました。

平成3年10月22日、「白石・海老名友好親善交流協会」が発足し、11月1日には、友好都市提携の盟約を締結。平成6年10月、白石市制施行40周年記念式典において、平成3年に友好都市を提携以来、民間レベルでの交流が盛んに行われてきた中で、両市がより一層の友好と理解を深め、相携えて発展することを念願し姉妹都市を締結しました。

この締結を機に海老名市と白石市は、産業経済、教育、文化、福祉など各分野における交流をより深く発展させることに努力し、両市民相互の理解と親善を深めつつ、両市の子々孫々の友好関係の維持発展に寄与することを確認する盟約書を取り交わし、これまでさまざまな交流が盛んに行われてきました。

白石市から約120人、登別市から47人が海老名市を訪れたこの日の式典で、内野優海老名市長は「友好都市の盟約を締結し、これまで、両市民で延べ約1万人が交流を深めてきました。20年間に渡って交流を続けてこられたのは、市民の皆さんや少年野球をはじめとした子どもたちの交流があったからこそ。今後この姉妹友好都市提携20周年を契機に、より一層交流を深めていきたい」とあいさつ。風間市長は「平成22年には、

続いて行われた祝賀会では、内野海老名市長と小笠原登別市長が両市で姉妹都市締結に向けた取り組みを進めていく決意書に署名。風間市長がこの決意書の承認として立ち合いました。風間市長は「今後、登別市と海老名市の両市の姉妹都市締結に向けた取り組みにお力添えをお願いするとともに、温かく見守ってほしい」とあいさつ。両市が姉妹都市となることを祈念し、出席者からの大きな拍手で会場が沸きました。